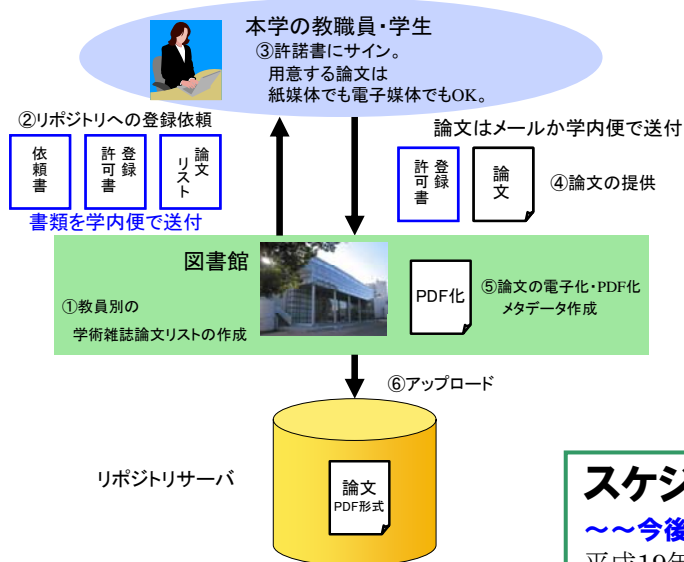


～現状と今後の展望～

平成19年2月8日-9日 DRF第2回ワークショップ 於 早稲田大学大隈記念タワー

コンテンツ収集



コンテンツ収集状況：現在およそ 30 件を収録済。

- ・著作権者から、紙の許諾書に**手書き**で署名をもらうことを原則としている。

- ・**学術雑誌論文**：284論文に依頼し、約175論文の許諾を得た。すべて電子ファイルで原稿をもらうことができた。
- ・**紀要**：NII から電子データを譲り受けたものの他に、J-STAGE からリポジトリに発表の場を移したものが1誌。
- ・**博士論文**：修了生の住所を調べて郵便で依頼文を送付。約150人に依頼し、半数から許諾書が返送されてきた。
- ・**各種報告書**：メタデータのみ登録する予定。

- ・DSpace の一括登録ツールが業者から納品されたので、今後急速にコンテンツが増えます！

スケジュール

～～今後の展望～～

- 平成19年2月28日 第4回学術情報リポジトリ運営委員会開催予定。
- 2月19日 学術情報リポジトリ公開予定。
- 2月 博士号取得者の在学中に許諾を取るため準備中。
- 2月 学術雑誌論文の依頼（第2弾）を準備中。

～～これまで～～

- 平成18年12月11日 第3回学術情報リポジトリ運営委員会を開催。
- 11月20日 リポジトリ説明会（環境情報研究院教授会）
- 11月10日 サーバ設置作業完了。
- 11月8日 博士課程修了生に、博士論文登録を依頼し始める。
- 11月7日 教員に、学術雑誌論文登録の依頼を送る。（第1弾）
- 10月30日 紀要編集委員会に、登録許諾依頼を送る。
- 10月12～27日 リポジトリ説明会を開催。
 - 12日：紀要編集委員会、16日：工学研究院教授会、18日：教育人間科学部教授会、27日：全学対象。
- 10月20日 コンテンツの電子化業者が決定する。
- 10月10日 リポジトリシステムの納入業者が決定する。
- 9月29日 第2回学術情報リポジトリ運営委員会を開催。
- 8月4日 第1回学術情報リポジトリ運営委員会を開催。
- 7月27日 産学連携推進本部よりシステム導入費の配分が決定。
- 7月13日 全学委員会として学術情報リポジトリ運営委員会を設置。教育研究評議会にて「学術情報リポジトリ運営指針」を決定。
- 7月7日 NIIの「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」に採択。
- 4月 事務組織再編に伴い、図書館企画係が設置される。

～～平成17年度以前～～

- 3月 科学技術・学術審議会から報告書が提出される。「学術情報基盤の今後の在り方について（報告）」
- 平成17年9月1日 実験サーバ「横浜国立大学学術成果リポジトリ」稼動。
- 平成16年度 大学で教育研究活動データベース（研究者総覧）を運用開始。
- 平成15年3月 文部科学省研究振興局情報課から報告書が提出される。「学術情報発信に向けた大学図書館機能の改善について（報告書）」
- 平成15年2月 総務部で教育研究活動データベースの導入を検討し始める。
- 平成15年2月 図書館に、学術情報発信プロジェクトチームが設置される。

システム

業者からサーバも含めて納入済。
 紀要専用ページを備える。
 ハーベスティングやハンドルは今後設定。

運営委員会

理事や教員 9 名の委員で構成される。
 （事務方 10 名が陪席）
 2 月に第 4 回委員会を開催予定。

運用体制

コンテンツ収集や広報などを図書館企画係が担当。人員は 3 名だが、総務やシステム管理の業務も担当しており、リポジトリ専任ではない。

サーバの管理は情報システム係が担当。
 ソフトウェアのカスタマイズは業者に委託。

広報

学内向けに説明会（全 5 回）を実施。
 修了生には突然の登録依頼文のみ。
 学内教職員向け広報誌に 2 回投稿。
 ホームページには運営指針だけを掲載しているが、現在 Q&A などを準備中。

グッズ

クリアフォルダを作りたい！